

上 かむらだより

第 20 号



HPQR コード

第 14 回長寿祭りを盛大に開催しました

9 月 14 日（日）9 時 30 分より上体育館で、第 14 回長寿祭りを 75 歳以上の対象者 239 名の内、86 名の出席で開催しました。開会前に今年 4 月より、上地区で風力発電の創業を始めた、エネオス・リニューアブル・エナジー株式会社の風力発電の、資材の搬入から建設までのビデオの観覧をして頂きました。開会行事では楠本会長のあいさつの後、来賓を代表して永松市長・阿部県議・渡辺議員にご祝辞を頂き、外務大臣衆議院議員 岩屋 毅様のお祝いメッセージもご披露いただきました。演芸では、大分県でも有名な院内童龍太鼓（園児から高校生まで）の皆さんを迎え、とても迫力のある素晴らしい和太鼓演奏を聴かせて頂きとても感動しました。その他カラオケ、オカリナ演奏、地元のけとろく芸喜暖など、楽しいひと時をすごして頂きました。演芸後は招待者代表謝辞、万歳三唱を行い、お弁当と記念品を差し上げて終了しました。参加できなかった皆様にも公民館長より記念品を届けて頂きました。地区公民館長はじめ地域の皆さん、ご協力いただきありがとうございました。



大分大学生との懇談会

8月28日(木) 18時より上地区コミュニティセンターで、大分大学の甲斐准教授と学生4名、上地区側は上地区住民自治協議会役員、渡辺雄爾市議会議員、小内原区地縁団体代表 加藤義雄氏、上地区防災士代表 吉岩耕治氏、上地区民生委員代表 赤井けい子氏の出席で大分大学生と懇談会を開催しました。

今回の懇談会の趣旨は、大分大学生が上地区の農業に興味を持ち、地域住民に話を聞き、その内容を卒業論文にするために来られました。内容についてはまず、上地区の概要を説明し、その後大学生から「地域の誇りと伝統について」「地域の変化と守りたいもの」「水路管理の具体的な内容」「地域の農業の特色」「水を守るための共同体としての取り組み」「農業を続ける上での不安」「地域が抱える課題と将来への展望」などについて質問があり、それぞれ担当者がお答えする形で行いました。時間的には2時間でしたが、こちら側も若者の意見や考え方も聞けて、中身の濃い懇談会となりました。



福岡県宗像市「ほのわ」視察

8月30日(土) 上地区住民自治協議会役員にて、福岡県宗像市の自然栽培(農薬・肥料不使用)でお米を作られている「ほのわ」に伺いました。ここの農主である金田さんは大学の法学部を卒業しお笑いの道に進み活躍されていたそうです。それがある取材をもとに農業に興味を持ち、自然栽培でお米を作っている会社に入り、2年前に独立した異色の経歴を持つ若い園主で、また移住者でもあるそうです。「ほのわ」の代表は奥さんで二人とも気さくな方で、いろんなお話を聞かせて頂きました。「ほのわ」もオーナー水田に取り組み、体験型農業やしめ縄づくり体験等オーナー様と素敵な関係を保たれています。また、農薬・肥料不使用の水田も案内していただき、普通栽培と変わらない稲の生長している田んぼも拝見でき、貴重な研修でした。

